

市民シンポジウム

Kamogawa City Interprofessional End-of-Life Care Advisory Project : KIECAP

生きることも老いることも支えあえる街 “Compassionate City Kamogawa” ココから始める未来がたり

2026年1月24日(土)

13:00-16:00

(開場12:00)

- 生まれ、老い、病み、そして逝く -

さまざまな喪失を抱えながら生きること、
それをコミュニティで支えあう

“Compassionate Cities(思いやりのあるまち)”
という概念が、国内外のいくつかの地で実装され
つつあります。

地域のあらゆる場が、喪失を分かちあうケアの文化
を共有し、誰もが孤立しないつながりがある街

“Compassionate City Kamogawa(思いやりのある
まち鴨川)”は、私たちの選択肢となりうるので
しょうか。

先進的かつ温かい取り組みを行っているシンポジス
トの方々を迎え、行政・教育施設・病院・介護施設
だけでなくさまざまな市民の方々と垣根を越えた
対話の場をしつらえました。

ここから始まる未来がたりには是非ご参加ください。

座長

大川 薫 亀田総合病院 地域医療支援部 部長
小谷みどり (一社) シニア生活文化研究所 代表理事

シンポジスト



堀田聰子
慶應義塾大学大学院
教授



田村恵子
大阪歯科大学
特任教授



北見万幸

横須賀市 民生局

福祉こども部地域福祉課 終活支援センター
特別福祉専門官 主査



柴田久美子

(一社)日本看取り士会

会長

(C) 清水和土



津野采子

ハート介護

サービス東住吉
所長

グラフィックレコーディング くみっきー(上村久美子)

[会場] 亀田医療大学 横渚キャンパス ミズキホール

[主催] 亀田総合病院 KIECAPプロジェクト

[後援] 亀田医療大学 [協力] 千葉県鴨川市

[定員] 300名 [対象] 医療・介護・福祉関係者、一般市民

[参加費] 無料 [申し込み締め切り] 2026年1月17日(土)

詳細・お申し込みは

QRコードから



生きることも老いることも支えあえる街 “Compassionate City Kamogawa” —ココから始める未来がたり—

2026年1月24日（土）13:00～16:00（開場12:00） 場所：亀田医療大学 横渚キャンパス ミズキホール

会場のご案内

- 住所：千葉県鴨川市横渚462
- 場所：亀田医療大学 横渚キャンパス
学生会館4階 ミズキホール



駐車場のご案内

- 住所：千葉県鴨川市貝渚242
 - 場所：社会体育センター
- ※車椅子をご利用の方は、
亀田医療大学内の優先駐車場を
ご利用ください。



申し込み方法

- 右記QRコード
- ※参加するために、申し込みが必要です。
（参加費無料）



生きることも老いることも支えあえる街 “Compassionate City Kamogawa” —ココから始める未来がたり—

2026年1月24日（土）13:00～16:00（開場12:00）場所：亀田医療大学 横渚キャンパス ミズキホール



Q：会場はどこにありますか？

**A：亀田医療大学 横渚キャンパス
（千葉県鴨川市横渚462）
学生会館 4 階ミズキホールです。**



Q：駐車場は、ありますか？

A：あります。以下の通り、ご利用ください。

- 一般の方：社会体育センター（千葉県鴨川市貝渚242）
- 車椅子の方：亀田医療大学（千葉県鴨川市横渚462）
大学内優先駐車場



Q：座席は、決まっていますか？

**A：座席指定はございません。全席自由となっております、
鴨川市民スペースを前方にご用意しております。**

Q：車椅子で参加してもよいですか？

**A：車椅子での参加も可能です。
※スペースに限りがございますため、参加申込の時に、
ご記入ください。**

Q：鴨川市民以外も、参加できますか？

A：はい、参加可能でございます。

Q：参加者について、年齢制限はありますか？

A：年齢制限はございません。